



森ボラ 通信

NPO 法人

第242号 2022年7月20日発行
北海道森林ボランティア協会

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 第2回親子森林教室 活動報告

6月12日、今年度第2回目の親子森林教室が9時半より開催されました。参加者は隊員12名、保護者10名(8家族)、協会員16名、総勢38名でした。1回目の4月とは違い、残雪もすっかり消え、新緑の森となり爽やかな木漏れ日の下での活動となりました。はじめに清澤隊長より今回の活動内容と併せてコロナ対策のマスク使用基準緩和の説明がありました。マスクを付けずに気兼ね無しに活動できる日がくることを願わずにはられません。前回欠席の2家族の自己紹介があり、ラジオ体操の後、活動開始です。

午前中の活動は播種体験です。まず種を集めなければなりません。隊員を3班に分け、オヒョウ組はシードトラップが設置されている森の奥へ、残り2班のエゾヤマザクラ組は駐車場へ移動。エゾヤマザクラ組はリヤカーに脚立2組と高枝鋏を積んで移動、リヤカーにはベルトを付けて隊員全員で引張り坂道を登り駐車場へ。赤黒く熟した実が対象です。最初は中々見つけることが出来ませんでした。後半には次々と見つかりたくさん採取。



オヒョウの種拾い

皆の狩猟本能にスイッチが入ったようでした。小屋前広場に戻り、採取したエゾヤマザクラの種を砂摺りしました。篩(ふるい)に小石と種を入れサクランボの果肉を剥がし、種に擦り傷を付ける作業です。傷を付けると発芽を促すとの由。コップに裸になった実を入れ水に浮いたものは捨てる。オヒョウ組が戻り合流。樞棒さんより樹木の増やし方には実生、挿し木等の説明があり、いよいよ播種へ。隊員はポットにエゾヤマザクラとオヒョウの種を播種し、プレートに播種者氏名、年月日、樹種名を記しポットに挿す。エゾヤマザクラは来年の春、オヒョウニレは早ければ2週間後に、遅ければ来春の発芽が期待できるとのこと。今後の経過が楽しみです。

これで午前中の活動は完了し昼食。午後の活動「森の活動フリータイム」は初めての企画で、やってみたいコースを選択して活動して貰うもので、今回はAコース「五感を使って森歩き」、Bコース「森の花の観察」、Cコース「森の掃除屋」(チップー作業)の3コースでした。選択の結果はAコース2名、Bコース4名、Cコース6名。私はBコースに同伴。小屋広場から中流橋、樹木園、キャリコ橋、小屋広場と回り途中の草花、樹木の花を観察しました。観察できた花はササバギンラン、フタリシズカ、ウツボグサ、ツクバネソウ、マムシグサ等々。絶滅危惧種のトケンランもありました。木の花ではハクウンボクが満開で見事でした。キャリコ橋ではシイタケ採取。大きなものが一杯とれました。



Aコース：エゾサンショウウオの観察

(Aコース：上流橋まで歩く途中で、木を支え栄養を吸収する根の働き、森の様子、森で大事なミズナラの木、シラカンバで木の音を聞き、エゾサンショウウオを網で掬って観察し、上流橋に座って針葉樹の葉の臭い、キハダを噛んだ味、葉っぱの表裏の手触りの違いなど、たくさんの事を学習、体験しました。)

(Cコース：D-4区に事前に用意したチップパーの周囲で枝集めから始め、集めた枝をチップパーで碎いてチップにする作業をしました。粉碎の時に出る音が凄く、恐る恐る枝を差し込む子、エイヤーと入れる子など様々、直ぐ親も順番待ちで並び参戦。子どもたちは粉碎チップの匂い嗅いだり、手に取り感触を確かめていました。)

小屋広場に戻り終礼。隊員に今日の感想を求めるが疲れたか発言は少なめ。最後は大量のシタケを隊員8家族がじゃんけんで選択順を決め持帰り。今回は活動内容を絞ったので時間的に余裕がありほぼ予定時間通りに進行できました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。(文・高橋)



Bコース：森を歩いて草花の観察



Cコース：チップパー作業に挑戦

◆ 澄川南小3年生のマイツリー選定活動支援

6月21日(火)、青空が広がり爽やかな気候の中で、澄川南小学校3年生、1・2組、65名の生徒と先生3名を迎え、森ボラ隊員5名で総合学習「マイツリー選定」の支援活動を行いました。

紅桜公園入口から舗装路を歩き北地区の森に入ります。新型コロナウイルス感染症は陽性者の減少等から、森の中ではマスクの着用は自由となり、木漏れ日の中で自然のおいしい空気を吸うことができました。また、エゾハルゼミの合唱の中での活動となりました。

3年生は初めて森に入りました。そして6年生になるまで毎年自分たちの「マイツリー」の成長を記録し見守っていきます。当日は事前に選定してあるピンクリボンの付けられた12本のマイツリーの中から、それぞれの班ごとの番号を探し出し、その木の周りの計測や木の状態、葉っぱを観察しノートに記録しました。



森ボラ隊員への質問コーナーでは多くの質問がありました。「森全体の手入れは」、「季節ごとの仕事はどうするの?」88haある森林を年間通して管理。雪の冬季には整理伐、春夏には草刈や、キノコ植菌、薪、集材、樹木の生長調査等。「珍しい生き物はいませんか?」タヌキ、エゾシカ、キツネ、シマヘビ、エゾサンショウウオ、クマゲラ等。マダニはウイルス感染の危険があるので、噛まれたらお医者さんで診療を受けること。これ以外にもツタウルシが足元に多く生えており、かぶれに注意が必要なことを説明しました。「好きな木は何ですか?」「どうして森ボラに入ったの?」等々いろいろな質問があり、森ボラ隊員は自然・植物が好きで森に入ると体が元気になるから、最終的には年寄りの体力維持(向上にあらず)という答えになりました。(文・平)



森ボラ隊員は自然・植物が好きで森に入ると体が元気になるから、最終的には年寄りの体力維持(向上にあらず)という答えになりました。(文・平)

◆ じょうてつの森 第1回目の活動を実施



森の最初の活動はチップ作業

今年度から始まった「じょうてつの森」活動の第1回目が、6月21日に澄川都市環境林で実施されました。株じょうてつからは、この活動を担当している経営戦略室の部長をはじめ不動産、バスなど各事業部門から管理職から若手まで男女13名が参加し、森ボラからは7名が活動をサポートしました。

まずは小屋前広場で朝礼を行い、森ボラの榎棒代表幹事から歓迎の挨拶をしました。その後、およそ1.5kmの森のコースを歩いて、森ボラから森の様子、澄川都市環境林の変遷、森ボラの活動内容を説明しました。続いて、D-4区で森ボラが行っている“チップ作業”に合流して作業を手伝いました。参加者は小枝集めと、粉碎機に集めた小枝を投入する作業に汗を流しました。

身体を動かした後の美味しい昼食を小屋前広場のテーブルでとり、午後はA-1区、E-2区に行き、秋の第3回目の活動で補植を予定している場所の下草(笹)刈り作業を森ボラと一緒に行いました。2班に分かれて、中鎌と手鎌を使って、また森ボラは刈り払機を使って、合せて600㎡ほどの補植予定地の下草(笹)を刈り、地面に放置されているボサを片付けました。当補植予定地には合計66本の竹棒が事前に立てられており、次回は地拵えをして植える準備をする予定です。

小屋前広場に戻って、最後に森ボラと共に終礼を行い今日の活動の感想を聞いたところ、市街地に隣接して豊かな自然が残っていることに驚いた、笹刈りは、最初は鎌が滑って上手く出来なかったが慣れてくると刈り方を会得できた、普段していない作業を体験して疲れたので体力を付けてまた挑戦したい、などの感想がありました。

参加者は小屋前広場に戻る途中のホダ場で採った原木栽培のシイタケと昼休みに採ったワラビをお土産に持ち帰りました。蚊やダニに少し悩まされ心配しましたが、好天の下で木漏れ日が気持ちの良い時期に第1回目のスタートを切ることができました。次回は8月30日に予定しています。(文・清澤)



補植予定地の笹刈りを行う

■ 澄川の自然 35

サワシバ (沢芝・カバノキ科)

7月1日、老田さんが久しぶりに澄川活動日に参加されたので、二人でキャリコ橋方面をゆっくり散策しました。普段歩く時はあまり、右へ左へと興味を持つことはありませんが、本当に久しぶりにふらふらと歩きました。

丁度、タイミングも良かったのでしょうか、サワシバを見つけました。キャリコ橋へ向かう左カーブの右手沢沿いに、沢の方から光を求めて歩道側に大分曲がって生えています。

6月末に支笏湖・復興の森で見たサワシバはかなりの大きさで果穂も大きく堂々としていましたが、澄川の森のは土地のせいでしょうか、太くはありません。高さ10~15m位になる落葉高木。雌雄同株、葉は単葉、互生する。(写真/文・西野(澄))



■ 今月の幹事会

出席者(7/6):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・釣井・西野(澄)・松藤・三橋・矢澤・矢野

1. 2022年8,9月活動スケジュール(8月幹事会8月10日(水)):了承
2. 2022年6月末会計報告:了承
3. 2022年度森林・山林多面交付金事業6月活動報告:モニタリング説明会は延期。
4. 第2回親子森林教室報告と第3回活動スケジュール:了承
5. 理事変更届と定款変更:了承
6. 現場報告
 - ・6/19 野幌国有林の活動:
 - ・6/23 野幌道有林の活動:次回は草刈り、網補修。ハンマー、脚立必要。
 - ・6/1～29 支笏湖活動:コンサの森、復興の森活動は今年度で終了予定。
 - ・6/21 澄川南小学校3年マイツリー選木:65名の児童が参加。
 - ・6/21 (株)じょうてつ第1回活動報告:13名の参加。10月に植栽予定地A-1、E-2区にて笹刈り。
7. その他
 - ・20周年記念専門委員会:スケジュール等了承
 - ・インパクトドライバー購入:事後承諾を了承
 - ・駐車場前のドロノキの伐倒:現地で確認。
 - ・炭化炉による炭焼き:準備を進める。
 - ・あしたの日本を創る協会活動賞の応募:了承
 - ・名誉会員辞退者:2名は退会扱い。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
6月17日(金)	澄川	17	ホダ場整備、北地区作業道整備、杭作り
6月19日(日)	野幌国有林	11	下草刈り、危険木処理
6月21日(火)	澄川	12	澄川南小3年観察会、(株)じょうてつCSR活動
6月23日(木)	野幌道有林	8	下草刈り、防獣網補修
6月25日(土)	澄川	18	熱中症対策講習会、北地区作業道整備、マキ作り
6月28日(火)	支笏湖(コンサ、復興)	16	下草刈り、生長調査
6月29日(水)		16	作業道草刈り、生長調査、倒木処理
7月1日(金)	澄川	14	マキ小屋作り、木道補修、苗畑整備、マキ作り
7月5日(火)	野幌国有林	8	草笹刈り、植栽予定箇所竹支柱設置
7月6日(水)	ラズビル4F会議室	11	幹事会
7月7日(木)	支笏湖	10	連絡作業道整備、アカエゾ生長調査
7月8日(金)	(烏柵舞、ぶんぶん)	10	作業道草刈り、除伐試行列設定、モニタリング区設置
7月10日(日)	澄川	12	第3回親子森林教室
7月12日(火)	野幌道有林	9	下草刈り、防獣網補修
7月14日(木)	西野	10	笹刈り、ニセカ・倒木処理、標準地調査